

Catalyst 9800 ワイヤレス LAN コントローラの 推奨 Cisco IOS XE リリース

内容

[はじめに](#)

[背景](#)

[TAC が推奨するビルド](#)

[IOS XE 17.13.1](#)

[Dublin 17.12](#)

[17.12.2](#)

[Dublin 17.11.1](#)

[Dublin 17.10.1](#)

[Cupertino 17.9](#)

[17.9.5](#)

[17.9.4a](#)

[17.9.4](#)

[17.9.3](#)

[17.9.2](#)

[17.9.1](#)

[Cupertino 17.8.1](#)

[Cupertino 17.7.1](#)

[Bengaluru 17.6](#)

[17.6.6](#)

[17.6.5](#)

[17.6.4](#)

[17.6.3](#)

[17.6.2](#)

[17.6.1](#)

[Bengaluru 17.5.1](#)

[Bengaluru 17.4.1](#)

[Amsterdam 17.3](#)

[17.3.7](#)

[17.3.6](#)

[17.3.5b](#)

[17.3.5a](#)

[17.3.4c](#)

[17.3.4](#)

[17.3.3](#)

[17.3.2a](#)

[17.3.1](#)

[Amsterdam 17.2.1](#)

[Amsterdam 17.1.1](#)

[Gibraltar 16.12](#)

[Gibraltar 16.11.1](#)

[ハードウェア 9800 WLC 上のフィールドプログラマブル \(FPGA\) ファームウェア](#)

[9800 WLC での高可用性ソフトウェアメンテナンス](#)

[ISSU](#)

[ソフトウェアメンテナンスアップグレード \(SMU\) パッチ](#)

[アクセスポイント サービスパック](#)

[アクセスポイント デバイス パック](#)

[ガイドラインと要件](#)

[Cisco.com での各種 9800 の SMU、APSP、および APDP イメージの場所](#)

[Software Defined Access \(SDA\) に関する注意事項](#)

[Inter Release Controller Mobility \(IRCM\)](#)

[AireOS 推奨コードについては、次を参照してください。](#)

[Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス LAN コントローラでサポートされている機能](#)

はじめに

このドキュメントでは、Catalyst 9800 ワイヤレス LAN コントローラ (C9800 WLC) 用の最も信頼性の高い Cisco IOS XE ソフトウェアを特定するためのガイダンスを提供します。

背景

このドキュメントの情報は、次を含む C9800 WLC のさまざまなフォームファクタに適用されません。

- アプライアンス (9800-40、9800-80、9800-L)
- 仮想コントローラ (プライベートおよびパブリッククラウドの 9800-CL)
- Catalyst 9000 シリーズ スイッチ上の Embedded Wireless Controller
- Catalyst アクセスポイント上の Embedded Wireless Controller (EWC-AP)

C9800 でサポートされるアクセスポイントモデルは次のとおりです。

- IOS ベースの 11ac Wave 1 アクセスポイント (1700/2700/3700/1572) (すべてのリリースではありません)
- COS ベースの 11ac Wave 2 アクセスポイント (1800/2800/3800/4800/1540/1560)
- COS ベースの Catalyst 11ax 91xx シリーズ アクセスポイント (9105/9115/9117/9120/9130/9136/9164/9166)

これらの推奨事項では、AireOS WLC と C9800 WLC の併用が考慮されています。推奨事項は、Catalyst 9800 WLC に適用可能な Cisco IOS XE ソフトウェアのすべてのリリースを対象としています。通常、新しくリリースされたバージョン (メンテナンスリリースまたは新しいコードトレイン) には、現場での最低 2 ~ 3 週間のソーク時間が設けられ、致命的な問題が報告されない場合のみ、シスコの一般的な推奨事項の候補になります。これらの推奨事項は、内部テスト、TAC ケースなどを通じてフィードバックを受けながら、頻繁に更新されます。

TAC が推薦するビルド

IOS XE 17.13.1

Cisco IOS XE 17.13.1 は、MR が計画されていない短期的リリースです。このリリースでサポートされる新機能は、[17.13リリースノート](#)に記載されています

Dublin 17.12

Cisco IOS XE 17.12.1 は、長期的な 17.12.x リリーストレインの最初のリリースです。このリリースでサポートされている新機能は、[17.12 のリリースノートに示されています](#)。17.10.1、17.11.1、17.12.1以降でサポートされているすべての機能とハードウェアについては、17.12.2を使用することをお勧めします。

17.12.2

Cisco IOS XE 17.12.2は、17.12トレインの最初のバグ修正リリースで、[CVE-2023-20198](#) [CVE-2023-20273](#) / [CSCwh87343](#)の修正が含まれています。これは、17.10.1以降のリリースでサポートされる機能またはハードウェアを使用するすべての導入に推奨されるバージョンです。

Dublin 17.11.1

Cisco IOS XE 17.10.1 は、MR が計画されていない短期的リリースです。[17.11 EoL 案内を参照してください](#)。このリリースでサポートされている新機能は、[17.11.1 のリリースノートに示されています](#)。17.10.1 または 17.11.1 以降でサポートされるすべての機能およびハードウェアについては、17.12.2 を使用することをお勧めします。

Dublin 17.10.1

Cisco IOS XE 17.10.1 は、MR が計画されていない短期的リリースです。[17.10 EoL 案内を参照してください](#)。このリリースでサポートされている新機能は、[17.10.1 のリリースノートに示されています](#)。17.10.1 以降でサポートされるすべての機能およびハードウェアについては、17.12.2 を使用することをお勧めします。

Cupertino 17.9

Cisco IOS XE 17.9.x は、いくつかの MR が計画されている長期的トレインです。すべての導入において、[17.9.4 + SMU_CSCwh87343 + APSP \(必要に応じて\)](#) または [17.9.4a+ APSP \(必要に応じて\)](#) を推奨します。

注 :

- 1) SMUおよびAPSPにはNetwork Advantageライセンスが必要です。Network Essentials ライセンスを使用した展開の場合、バグ修正は、Cisco TAC から要求できる 17.9 エスカレーションイメージで利用できます。エスカレーションイメージへのアップグレードにはダウンタイムが必要です。
 - 2) APSPは段階的なバージョンです。つまり、各APSPバージョンには以前のすべてのバージョンのAPSPからの修正が含まれています。
 - 3) APSPの下のバグを評価し、APモデルの修正を含むAPSPを導入に適用します。
-

17.9.5

Cisco IOS XE 17.9.5はバグ修正リリースであり、17.9.4aとAPSPでカバーされているすべての問題を修正します。17.9トレインの次の推奨事項と見なされています。

17.9.4a

Cisco IOS XE17.9.4aは、[CVE-2023-20198](#) [CVE-2023-20273](#) / [CSCwh87343](#)で説明されているCisco IOS XEソフトウェアのWeb UI機能の複数の脆弱性に対処するために公開されています。

17.9.4aAPSP6 (APバージョン : 17.9.4.201)

17.9.4aAPSP6には、APのバージョンラベルが17.9.4 APSP6と異なる場合でも、17.9.4 APSP6と同じ修正が含まれます。次の修正が含まれます。

[CSCwh61011](#) Cisco 9120および9115 APがWLCから予期せず分離し、DTLSを再確立できない

[CSCwh74663](#) 3800 not sending QoS data frames due to RadarDetected flag as TRUE (レーダーが検出されたためダウンストリームにQoSデータフレームを送信しない)

[CSCwh81332](#) 9130APで、17.6.6にアップグレード後にカーネルパニックによるクラッシュが発生しました([CSCwf87904](#)の回帰修正)。

[CSCwh60483](#) 9136I-ROW AP – 誤った温度表示、100度低下

[0.CSCwf53520](#)バージョン17.9.2が稼働するCisco 1815 AP : カーネルパニックによるクラッシュが確認される

[CSCwf93992](#) : 遅延が50ミリ秒を超える場合、2800 Flex APはEAP-TLS断片化パケットを処理しません

[CSCwf85025](#) 国コードが GB の C9166-ROW AP で、チャンネル変更後に送信電力が低下し、クライアントが接続に失敗する。

[CSCwh02913](#)次のアサートによる AP カーネルクラッシュ : "TXPKTPENDTOT(wlc)== 0" failed: file "wlc_mutx.c:4247"

[CSCwh08625](#) PC を使用した C9105、C9115、C9120 AP でのカーネルパニックが_raw_spin_unlock で発生する

[CSCwf68131](#) C9105AXW : 不良ブロックのモニタリング

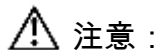
[CSCwf50177](#) C9105AXW : 多数の不良ブロック

17.9.4

Cisco IOS XE 17.9.4 は、主にバグ修正を目的としたリリースで、次を追加しています。

- 製品分析のサポート

- アラブ首長国連邦向けの ROW サポート



注意：

- 1) 17.9.4と17.9.4aが[CSCwf83132](#)の影響を受け、モビリティグループ名の変更に、クライアントがflexconnect APの11r対応SSIDで関連付けができなくなる。
-

17.9.4 SMU_CSCwh87343 (コールド SMU。リロードが必要)

17.9.4 SMU は次の修正を提供します。

[CSCwh87343/ CVE-2023-20198 CVE-2023-20273](#) Cisco IOS XE ソフトウェア Web UI 機能の複数の脆弱性。この SMU を適用するには、WLC をリロードする必要があります。

17.9.4 APSP6 (APバージョン : 17.9.4.206)

17.9.4 APSP5には、APSP1、APSP2、およびAPSP5の修正プログラムが含まれ、次の修正プログラムも追加されます。

[CSCwh61011](#) Cisco 9120および9115 APがWLCから予期せず分離し、DTLSを再確立できない

[CSCwh74663](#) 3800 not sending QoS data frames due to RadarDetected flag as TRUE (レーダーが検出されたためダウンストリームにQoSデータフレームを送信しない)

[CSCwh81332](#) 9130APで、17.6.6にアップグレード後にカーネルパニックによるクラッシュが発生しました([CSCwf87904](#)の回帰フィックス)。

[CSCwh60483](#) 9136I-ROW AP – 誤った温度表示、100度低下

17.9.4 APSP5 (APバージョン : 17.9.4.205)

17.9.4 APSP5には、APSP1とAPSP2の修正プログラムが含まれ、次の修正プログラムも追加されます。

[0.CSCwf53520](#)バージョン17.9.2が稼働するCisco 1815 AP : カーネルパニックによるクラッシュが確認される

[CSCwf93992](#) : 遅延が50ミリ秒を超える場合、2800 Flex APはEAP-TLS断片化パケットを処理しません

17.9.4 APSP2 (APバージョン : 17.9.4.202)

17.9.4 APSP2には、すべてのAPSP1修正が含まれ、以下の修正も追加されます。

[CSCwf85025](#) 国コードが GB の C9166-ROW AP で、チャンネル変更後に送信電力が低下し、クライアントが接続に失敗する。

[CSCwh02913](#)次のアサートによる AP カーネルクラッシュ : "TXPKTPENDTOT(wlc)== 0" failed: file "wlc_mutx.c:4247"

[CSCwh08625](#) PC を使用した C9105、C9115、C9120 AP でのカーネルパニックが

_raw_spin_unlock で発生する

17.9.4 APSP1 (APバージョン : 17.9.4.201)

17.9.4 APSP1 では、以下に対処する C9105AXW の修正が提供されています。

[CSCwf68131](#) C9105AXW : 不良ブロックのモニタリング

[CSCwf50177](#) C9105AXW : 多数の不良ブロック

を参照。

17.9.3

Cisco IOS XE 17.9.3 は、バグ修正を目的としたリリースで、次を追加しています。


- IW9167E のサポート
- C9800 の Wireless Network Control daemon (WNCd) インスタンス間で AP のロードバランシングを改善するためにサイトの負荷を指定する機能
- Wave 1 アクセスポイント (1700/2700/3700/1572) のサポートが再導入されますが、このサポートは、通常の製品ライフサイクルサポートを超えて延長されません。これらのAPの機能は17.3の機能と同等で、 $x \geq 4c$ の場合は17.3.xから17.9.3へのアップグレードがサポートされます。詳細については、[FAQ を参照してください。](#)
- C9800 での AAA 中間アカウンティングを無効にするコマンド

17.9.3を実行している場合は、WLCを17.9.4 + SMU_CSCwh87343 + APSP (必要な場合) または17.9.4a+ APSP (必要な場合) にアップグレードできるまで、少なくともSMUおよび適用可能なAPSPと[CSCwh87343](#)の[HTTP ACL](#)を適用することを推奨します

[Field Notice FN74035/CSCwf67316 に対処するための 11ac Wave 2 AP シリーズ \(2800、3800、4800、1560、6300 \) を使用した展開用の 17.9.3 + SMU + APSP4 CCO イメージ](#)

[CSCwf68131](#) および [CSCwf50177 に対処するための 11ax Catalyst AP シリーズ \(C9105 \) を使用した展開用の 17.9.3 + SMU + APSP5 CCO イメージ](#)

他の全展開用の 17.9.3 + SMU + APSP3 CCO イメージ

-
-  注意 : 17.9.3 にアップグレードする前に、下記の点に注意してください。
- a. C9800 WLC が 17.3.6 + APSP6、17.3.7、または 17.6.5 を実行していない場合、WAN 経由で WLC に登録された COS AP はイメージが破損するリスクがあります。[イメージの破損によるブートループを回避する方法](#)を参照して、AP がブートループでスタックするのを回避するか、またはブートループでスタックした AP を回復します。
 - b. C9800-40 の ROMMON バージョンを 17.7(3r) にアップグレードして、[CSCvp25150](#) を回避します。他のプラットフォームでの ROMMON の推奨バージョンと ROMMON のアップグレード手順については、このドキュメントの FPGA に関するセクションを参照してください。
-

17.9.3 SMU

17.9.3 については、次の修正を含む 3 つの SMU が掲載されています。

[CSCwf55303](#) RP リンクがアップ状態になるとアクティブ WLC がリブートする (ヒットレス、WLC のリロードは不要)

[CSCwe01579](#) rrm スケール中に rrm_client_coverage_rssi_record_create で WNCd クラッシュが観察される (WLC のリロードが必要)

[CSCwf60151](#) WLC でクラッシュを引き起こす pubd によるメモリーリーク (ヒットレス、WLC のリロードは不要)

17.9.3 APSP5 (AP バージョン : 17.9.3.205)

17.9.3 APSP4 は、次に対する AP 修正を提供します。

[CSCwf68131](#) C9105AXW : 不良ブロックのモニタリング

[CSCwf50177](#) C9105AXW : 多数の不良ブロック

17.9.3 APSP4 (AP バージョン : 17.9.3.204)

17.9.3 APSP3 は、次に対する AP 修正を提供します。

[CSCwf67316](#) : 2800/3800/4800/1560/IW6300 が必要なレベルでレーダーを検出しないことがある

17.9.3 APSP3 (AP バージョン : 17.9.3.203)

17.9.3 APSP3 は、次に対する AP 修正を提供します。

[CSCwe73758](#) 9115 AX AP ビーコンが 5GHz でスタックする

[CSCwf07605](#) C9105AXW および 1815W Mac デバイスが、AAA VLAN オーバーライド後にイーサネットポートで IP アドレスを取得できない

[CSCwe91394](#) WLC を 17.92 または 17.10.1 にアップグレードした後、余分なバイトが原因で Aeroscout T15e タグによって一時データが報告されない

[CSCwf29742](#) FW が 80 以上のクライアントでマルチキャストおよび長期間の実行中にクラッシュする (12 時間後)

17.9.3 APSP2 (AP バージョン : 17.9.3.202)

17.9.2 APSP2 は、次に対する AP 修正を提供します。

[CSCwe32853](#) AP C9124AXI が RLAN トラフィックをアップストリーム ネットワークに転送しない。 [SF 06513662]

[CSCwd41463](#) Cisco 3800、4800 AP が IGMP メンバーシップレポートの送信を停止する

17.9.3 APSP1 (AP バージョン : 17.9.3.201)

17.9.3 APSP1 は、次に対する AP 修正を提供します。

[CSCwd91054](#) Flex 中央認証展開のクライアントが古い PMKID で Sticky Key Caching (SKC) 口一ミングを実行すると、認証状態でスタックする。

[CSCwe55390](#) 3802AP が、Spectralinkphone ローミング後に最大 500 ミリ秒の UP6/音声トラブルをバッファリングすると、口ポット音声などの音声の問題が発生する

[CSCwe04602](#) COS AP による SDA ファブリック WLANでのワイヤレスクライアントへのトラブル転送に約 60 秒間障害が発生する

[CSCwe66515](#) 17.9.2 バージョンの 9136 AP がクライアントからの M2 応答を登録しない

[CSCwe88776](#) EWC 対応 MAP が capwap init で 3 分間待機状態になる

17.9.2

Cisco IOS XE 17.9.2 は、いくつかの新機能を除くバグ修正リリースです (詳細については、リリースノートを確認してください)。いくつかの重大なバグ修正と、一部 Catalyst WiFi6 アクセスポイントの新しいバージョンのサポート ([Field Notice 72424](#) を参照) は、17.9.2 で利用できます。17.9.4 + SMU_CSCwh87343 + APSP (必要に応じて) または 17.9.4a+ APSP (必要に応じて) にアップグレードすることを推奨します。


17.9.2 APSP1

17.9.2 APSP1 では、2022 年 12 月 4 日以降も IW3700 AP が C9800 WLC に参加できるようにする [CSCwd80290](#) の修正が提供されています。詳細については、

https://www.cisco.com/c/ja_jp/support/docs/wireless/aironet-700-series-access-points/218447-ios-ap-image-download-fails-due-to-expir.html および Field Notice [FN72524](#) を参照してください。


17.9.1

Cisco IOS XE 17.9.1 は、長期的な 17.9.x リリーストレインの最初のリリースです。これは、Cisco Catalyst 916x シリーズ AP をサポートする最初のリリースです。[このリリースでサポートされている新機能は](#)、17.9.1 のリリースノートに示されています。17.9.4 + SMU_CSCwh87343 + APSP (必要に応じて) または 17.9.4a+ APSP (必要に応じて) にアップグレードすることを推奨します。

 注意：一部の Catalyst WiFi6 アクセスポイントの新しいバージョンのサポート ([Field Notice 72424](#) を参照) は、17.9.1 ではサポートされて**いません**が、17.9.2 ではサポートされています。


Cupertino 17.8.1

Cisco IOS XE 17.8.1 は、MR が計画されていない短期的リリースです。[17.8.1 のサポート終了案内](#)を参照してください。このリリースでサポートされている新機能は、[17.8.1 のリリースノート](#)に示されています。17.8.1以降でサポートされるすべての機能とハードウェアについては、17.9.4 + SMU_CSCwh87343 + APSP (必要に応じて) または 17.9.4a+ APSP (必要に応じて) を使用することをお勧めします

 注：C9130 および C9124 を使用した展開で 17.3.3 を実行している場合は、17.8.1 にアップグレードする前に 17.3.4c にアップグレードする必要があります。

Cupertino 17.7.1

Cisco IOS XE 17.7.1 は、MR が計画されていない短期的リリースです。[17.7.1 のサポート終了案内](#)を参照してください。このリリースでサポートされている新機能は、[17.7.1 のリリースノート](#)に示されています。17.7.1以降でサポートされるすべての機能とハードウェアについては、17.9.4 + SMU_CSCwh87343 + APSP (必要に応じて) または 17.9.4a+ APSP (必要に応じて) を使用することをお勧めします

 注意：17.7.1 は [CSCwb13784](#) の影響を受けます。この問題により、パス MTU が 1000 バイトを下回る場合に Wave 2 AP および 11ax AP の参加が妨げられます。

Bengaluru 17.6

Cisco IOS XE 17.6.x は、複数の MR を含む長期的トレインです。**17.6 トレインの対象となる MR はあと 2 つだけです。**[17.6 End of Life bulletin](#)を参照してください。シスコでは、すべての導入で 17.9.4 + SMU_CSCwh87343 + APSP (必要に応じて) または 17.9.4a+ APSP (必要に応じて) CCOイメージに移行することを推奨しています。

17.6.6

Cisco IOS XE 17.6.6は、バグ修正のみのリリースです。

17.6.5

Cisco IOS XE 17.6.5 はバグ修正のみのリリースであり、[ポリシープロファイル (Policy Profile)] に中間アカウントングを無効にする設定が追加されています。17.6.5

17.6.4

Cisco IOS XE 17.6.4 はバグ修正のみのリリースであり、[AP参加プロファイル (AP Join Profile)] に AP シリアルコンソールを有効にするための設定が追加されています。いくつかの重大なバグ修正と、一部 Catalyst WiFi6 アクセスポイントの新しいバージョンのサポート ([Field Notice 72424](#) を参照) は、17.6.4 で利用できます。17.9.4 + SMU_CSCwh87343 + APSP (必要に応じて) または 17.9.4a+ APSP (必要に応じて) への移行を推奨

17.6.4 APSP1

17.6.4 APSP では、2022 年 12 月 4 日以降も IW3700 AP が C9800 WLC に接続できるようにする [CSCwd80290](#) の修正が提供されています。詳細については、https://www.cisco.com/c/ja_jp/support/docs/wireless/aironet-700-series-access-points/218447-ios-ap-image-download-fails-due-to-expir.html および Field Notice [FN72524](#) を参照してください。

17.6.3

Cisco IOS XE 17.6.3 は、バグ修正のみのリリースです。これには、17.3.5a 以降のすべての修正と [CSCwb13784](#) の修正が含まれています。

CMX または Cisco DNA Spaces でロケーションを使用している場合は、[CSCwb65054](#) に注意してください。これは、cisco.com に投稿された SMU (ホットパッチ) です。

17.6.3のSMUパッチで提供される多くのバグ修正と、17.6.4では一部のCatalyst WiFi6アクセスポイントの新しいバージョンのサポート([Field Notice 72424](#)を参照)が利用可能です。シスコでは、17.9.4 + SMU_CSCwh87343 + APSP (必要に応じて) または17.9.4a+ APSP (必要に応じて) に移行することを推奨しています

17.6.2

Cisco IOS XE 17.6.2 では、いくつかの機能のサポートが追加されています。

- MAC 認証失敗時の Web 認証での 802.1 のサポート
- C9124AXI/E/D 屋外 AP でのメッシュおよびメッシュ + Flex のサポート
- 802.11ac Wave 2 および 11ax Catalyst AP でのクライアントごとの双方向レート制限

[CSCwb13784](#) (パス MTU が 1000 バイトを下回る場合に Wave 2 AP および 11ax AP の参加が妨げられる) など、17.6.2 の多くの重大なバグは、17.6.4 で解決されています。17.9.4 + SMU_CSCwh87343 + APSP (必要に応じて) または17.9.4a+ APSP (必要に応じて) への移行を推奨

17.6.1

このリリースでサポートされている新機能は、[17.6 のリリースノート](#)に記載されています。17.6.1 は、いくつかの重大な欠陥に対して脆弱であるため、使用を回避する必要があります。

Bengaluru 17.5.1

Cisco IOS XE 17.5.1 は、MR が計画されていない短期的リリースです。[17.5 のサポート終了案内](#)を参照してください。このリリースでサポートされている機能のリストは、[17.5 のリリースノートに記載されています](#)。17.5以降でサポートされるすべての新しいハードウェアと機能については、17.9.4 + SMU_CSCwh87343 + APSP (必要に応じて) または17.9.4a+ APSP (必要に応じて) に移行することをお勧めします

Bengaluru 17.4.1

Cisco IOS XE 17.4.1 は、MR が計画されていない短期的リリースです。[17.4 のサポート終了案内](#)を参照してください。17.4 でサポートされている機能のリストは、[17.4 のリリースノートに記載されています](#)。17.4以降でサポートされているすべての新しいハードウェアと機能については、17.9.4 + SMU_CSCwh87343 + APSP (必要に応じて) または17.9.4a+ APSP (必要に応じて) に移行することをお勧めします

Amsterdam 17.3

Cisco IOS XE 17.3.x は、いくつかのメンテナンスリリース (MR) が計画されている長期的トレインです。17.3 は、[17.3 のサポート終了案内](#)に記載されているソフトウェアメンテナンスの有効期限に達しました。17.3 の最後の MR は、2023 年 9 月を目標にした PSIRT のみのリリースにな

ります。すべての導入で、17.9.4 + SMU_CSCwh87343 + APSP (必要に応じて) または 17.9.4a+ APSP (必要に応じて) CCOイメージに移行することをお勧めします。

17.3.7

Cisco IOS XE 17.3.7 は、17.3 リリーストレインの最後のバグ修正 MR です。17.3 トレインを引き続き使用のお客様には、17.3.7 を推奨します。

17.3.6

Cisco IOS XE 17.3.6 は、主にバグ修正を目的としたリリースです。次のサポートが追加されます。

- 9124 AXI/E/D アクセスポイントのメッシュおよびメッシュ + Flex 機能
- 一部の Catalyst WiFi6 アクセスポイントの新しいバージョン (VID) ([Field Notice 72424](#) を参照)

17.3.6 APSP7

APSP7 は、APSP5 の IOS 修正と APSP6 の COS AP 修正を統合パッチとして提供します。

CSCwd89180 による [17.3.6 APSP6](#)

17.3.6 APSP6 は、17.3.6 APSP2 を置き換え、複数の COS AP (11ac Wave2 および Catalyst 11ax) の不具合を修正します。

[CSCvx32806](#) イメージチェックサム検証の失敗により、COS-AP がブートループでスタックする
[CSCwc32182](#) AP 1852 無線ファームウェアのクラッシュ (SF 06029787/06121536/06208256)

[CSCwc89719](#) AP1832 が無線障害 (無線リカバリ失敗) によりクラッシュする (SF#06180501)

[CSCvz99036](#) ネイティブ VLAN からの Cisco アクセスポイント VLAN バイパスの脆弱性
[CSCwd37092](#) 8.10.181.0/17.3.6 - 2800/3800/4800 シリーズでの TCP ダウンロードの遅延、TLS 認証の失敗

[CSCwc78435](#) 9130 が、アウトオブバンド DFS イベントで誤ったチャネルリストを送信し、クライアント接続の問題を引き起こす

[CSCwc88148](#) ドライバ側の MAC 一時停止の問題 ([CSCwc72194](#)) に対処するための追加の機能拡張

[CSCwd83653](#) による [17.3.6 APSP5](#)

17.3.6 APSP5 では、2022 年 12 月 4 日以降も Cisco IOS AP が C9800 WLC に参加できるようにする Cisco Bug ID [CSCwd80290](#) の修正が提供されています。詳細については、https://www.cisco.com/c/ja_jp/support/docs/wireless/aironet-700-series-access-points/218447-ios-ap-image-download-fails-due-to-expir.html および Field Notice [FN72524](#) を参照してください。

[CSCwd40096](#) による [17.3.6 APSP2](#)

17.3.6 APSP2 では、Cisco Bug ID [CSCwd37092](#) の修正が提供されています。

症状：2800/3800/4800/1560/6300 アクセスポイントでダウンロードが遅くなり、EAP-TLS 認証が失敗する。バグを確認するには、AP で #show controller nss stats を実行し、INNER_CAPWAP_REASM_FAILED カウンタが増加しているかどうかを確認します。

回避策：ありません。TCP ダウンロードの問題は、AP 参加プロファイルで tcp-adjust-mss 1250 が明示的に無効になっている場合に C9800 でのみ発生します。設定を有効にすると、TCP ダウンロードの遅延は防止されますが、UDP ダウンロードの遅延と EAP-TLS の失敗は続きます。

また、Cisco Bug ID [CSCvz99036](#) および Cisco Bug ID [CSCwc78435](#) の修正も含まれています。


17.3.5b

Cisco IOS XE 17.3.5b は 17.3.5a の更新版であり、17.3.5a の SMU パッチおよびエスカレーションイメージを介して提供されるバグ修正が組み込まれています。詳細なリストについては、『[17.3.5bで解決された不具合](#)』を参照してください。

17.3.5a

Cisco IOS XE 17.3.5a には、次を含むいくつかの重要な修正が適用されています。

- WNCd (プロンプト、ARP ストームなど) において高い CPU 使用率が発生する既知の問題の修正
- WNCd において CPU 使用率が急上昇したときに AP がドロップすることを防ぐための CAPWAP キープアライブの優先順位付け
- SSID がブロードキャストを停止したときに診断するための Syslog と、CLI リカバリメカニズム [CSCwb01162](#) を参照してください。


 **注意：** 17.3.5a CCO イメージは [CSCwb13784](#) の影響を受けます。この問題により、パス MTU が 1000 バイトを下回る場合に Wave 2 AP および 11ax AP の参加が妨げられ、パス MTU が 1500 バイトを下回る場合に Cisco IOS AP (1700/2700/3700) の参加が妨げられます。
修正：この問題の修正を提供する cisco.com に投稿された SMU (ホットパッチ) の適用が必須です。

17.3.4c

Cisco IOS XE 17.3.4c では、17.3.4 のいくつかの重大で広範囲に影響を与えるバグが修正されています。


17.3.4

Cisco IOS XE 17.3.4 は、バグ修正のみのリリースです。

 **注：** C9130 および C9124 を使用した展開で 17.3.3 を実行している場合は、17.8.1、17.9.1 にアップグレードする前に 17.3.4c にアップグレードする必要があります。

17.3.3

Cisco IOS XE 17.3.3 は、バグ修正のみのリリースです。

-
-  注意：17.3.3 には [CSCvy11981](#) に対する脆弱性があります。
- 症状：WNCD がクラッシュします。
- トリガー：AP 名が 32 文字以上の場合に、メモリが破損し、このクラッシュが発生します。
- 回避策：AP 名が 31 文字以下であることを確認します。
-

17.3.2a

Cisco IOS XE 17.3.2a は、メンテナンスリリースですが、バグ修正に加えて機能が追加されています。これらの機能には、次のものが含まれます。

- ポリシーを使用したスマートライセンス (GUI 設定は 17.4.1 でのみ利用可能)
- OEAP のパーソナル SSID
- シリアル番号を使用した AP 許可 (wlancc+FIPS +LSC 証明書を提示する AP 以外のすべての AP に拡張)
- iCAP なしでのアシュアランスと IoT サービスの共存
- クラウド上の DNA-C への TLS トンネル

17.3.1

Cisco IOS XE 17.3.1 では、以下のハードウェアおよびソリューションのサポートが導入されました。

- 9105I および 9105W アクセスポイント
- 9800CL 上の高スループットテンプレート
- Catalyst 9000 スイッチに組み込まれたワイヤレス (非 SDA)
- ユーザー定義ネットワーク (UDN) と UDN モバイルアプリケーション
- コントローラでの BLE 管理
- IOT モジュール管理

完全なリストについては、[17.3 のリリースノート](#)を参照してください。

Amsterdam 17.2.1

Cisco IOS XE 17.2.1 は、メンテナンスリリースが計画されていない短期的トレインです。[17.2 のサポート終了案内](#)を参照してください。C9800 のすべての 17.2.x リリースは、[Field Notice の FN70577](#) と [CSCvu24770](#) のために据え置かれています。シスコでは、すべての導入で 17.9.4 + SMU_CSCwh87343 + APSP (必要に応じて) または 17.9.4a+ APSP (必要に応じて) への移行を推奨しています。

Amsterdam 17.1.1

Cisco IOS XE 17.1.1 は、メンテナンスリリースが計画されていない短期的リリースです。[17.1](#)

[のサポート終了案内を参照してください。](#) C9800 のすべての 17.2.x リリースは、[Field Notice の FN70577](#) と [CSCvu24770](#) のために据え置かれています。シスコでは、すべての導入で 17.9.4 + SMU_CSCwh87343 + APSP (必要に応じて) または 17.9.4a+ APSP (必要に応じて) への移行を推奨しています。

Gibraltar 16.12

Cisco IOS XE 16.12 は、9800 の最初の長期的リリーストレインです。16.12.1 では、以下のハードウェアおよびソリューションのサポートが導入されました。

- 9800-L
- Google Cloud 上の 9800-CL
- 9120AXE、9130AXI
- Catalyst アクセスポイント上の Embedded Wireless Controller (EWC-AP)

16.12.8

16.12.2 から 16.12.7 までのすべての 16.12.x リリースは、バグ修正のみのリリースです。16.12.8 は、このトレインで計画されている最後の MR です。16.12 のサポート終了案内を参照してください。シスコでは、すべての導入で 17.9.4 + SMU_CSCwh87343 + APSP (必要に応じて) または 17.9.4a+ APSP (必要に応じて) に移行することを推奨しています。



注：16.12.4a より前のすべての 16.12.x リリース (16.12.1、16.12.1s、16.12.1t、16.12.2s、16.12.2t、16.12.3、16.12.3s) は、[CSCvu24770 に対応するために据え置かれています。](#)

Gibraltar 16.11.1

Cisco IOS XE 16.11.1 は、以降のメンテナンスリリースが計画されていない短期的リリースです。[サポート終了案内](#)を参照してください。16.xのすべての機能に関して、シスコでは、すべての導入で 17.9.4 + SMU_CSCwh87343 + APSP (必要に応じて) または 17.9.4a+ APSP (必要に応じて) への移行を推奨しています

Gibraltar 16.10.1

Cisco IOS XE 16.10.1 は、Catalyst 9800 SKU (アプライアンス : 9800-40、9800-80、プライベート/パブリッククラウド上の 9800、9800-CL、および Catalyst 9300 スイッチ上の 9800 ソフトウェア) を正式にサポートする最初の Cisco IOS XE ソフトウェアリリースです。Cisco IOS XE 16.10.1eは、Catalyst 9800とのCisco DNA Center統合をサポートする最初のリリースです。これは、メンテナンスリリース (MR) が計画されていない短期的リリースです。サポート終了案内を参照してください。16.xのすべての機能に関して、シスコでは、すべての導入で 17.9.4 + SMU_CSCwh87343 + APSP (必要に応じて) または 17.9.4a+ APSP (必要に応じて) への移行を推奨しています。

ハードウェア 9800 WLC 上のフィールドプログラマブル (FPGA) ファームウェア

物理的な Catalyst 9800 WLC (9800L、9800-40、9800-80) には、IOS-XE の他に、アップグレードできるコードが 2 つあります。

- ROM モニター (ROMmon) : C9800 アプライアンスで、ハードウェアを初期化し、IOS-XE ソフトウェアを起動するブートストラッププログラムです。 次のコマンドを実行すると、アプライアンスで実行されている ROMmon のバージョンを確認できます。

```
#show rom-monitor chassis {active | standby} R0
```

- PHY : 物理層、具体的には、C9800 アプライアンスのフロントエンド ディストリビューションおよびアップリンクポートをサポートする共有ポートアダプタ (SPA) モジュールを指します。 次のコマンドを実行すると、アプライアンスで実行されている PHY のバージョンを確認できます。

```
#show platform hardware chassis active qfp datapath pmd ifdev | include FW
```

新しいファームウェアは、通常、システム (温度センサー、ファン、電源装置など) の正常性を保護し、物理ポートでのデータ転送の問題に対処するためにリリースされます。 [利用可能な最新の FPGA ファームウェアにアップグレードすることをお勧めします。](#) 「[Upgrade C9800 FPGA](#)」で新しいファームウェアがリリースされた特定の不具合とともにアップグレード手順を説明しています。表 1 に、各プラットフォーム用のバージョンを示します。

	ロード	イーサネット PHY	光ファイバ PHY
9800-L-F	16.12(3r)	N/A	17.11.1
9800-L-C	16.12(3r)	17.11.1	N/A
9800-40	17.7(3r)	N/A	16.0.0
9800-80	17.3(3r)	N/A	16.0.0

9800 WLC での高可用性ソフトウェアメンテナンス

C9800 は、展開ライフサイクルのソフトウェア メンテナンス フェーズで可用性を確保するための複数の機能を提供します。これらには、In-Service Software Upgrade (ISSU)、ローリング AP アップグレード、WLC の不具合または PSIRT に対処するためのホットパッチとコールドパッチ、AP 固有の修正に対処するための AP パッチ、および既存のコントローラコードで新しい AP モデルをサポートするための AP パッチが含まれます。

ISSU

ISSU のサポートは、17.3.1 で導入され、長期的リリース (17.3.x、17.6.x、および 17.9.x) に限

定されています。つまり、ISSU は、次のリリースで機能します。

1. 長期的メジャーリリース内 (17.3.x ~ 17.3.y、17.6.x ~ 17.6.y、17.9.x ~ 17.9.y など)
2. 長期的メジャーリリースの間 (17.3.x ~ 17.6.x、17.3.x ~ 17.9.x など)

注：これは、現在サポートされている長期リリースの後の2つの長期リリースに制限されます。

ISSU はサポートされて「いません」。

1. 短期的リリーストレインのマイナーリリース内 (17.4.x ~ 17.4.y、17.5.x ~ 17.5.y など)
2. 短期的リリーストレインのマイナーリリースとメジャーリリースの間 (17.4.x ~ 17.5.x など)
3. 長期的リリースと短期的リリースの間 (17.3.x ~ 17.4.x、17.5.x ~ 17.6.x など)

ソフトウェア メンテナンス アップグレード (SMU) パッチ

C9800 は、コールドパッチとホットパッチの両方をサポートしており、バグ修正をソフトウェアメンテナンスアップグレード (SMU) ファイルとして提供することができます。

- ホットパッチ：システムのリロードは必要ありません。つまり、WLC と AP は動作しつづけます。9800 ステートフル スイッチオーバー (SSO) ペアの場合、SMU インストールプロセスにより、パッチが両方のシャーシに適用されます。
- コールドパッチ：コールドパッチの場合はシステムのリロードが必要です。9800 SSO ペアの場合は、ダウンタイムなしでコールドパッチを適用できます。

アクセス ポイント サービス パック

アクセスポイント (AP) でのソフトウェア不具合の修正は、アクセス ポイント サービス パックを介して提供できます。これには AP のリロードが必要ですが、9800 WLC のリロードは必要ありません。

アクセス ポイント デバイス パック

新しい AP モデルのサポートは、WLC コードをアップグレードしなくても、既存の WLC コードで利用可能にすることができます。この AP は、既存の WLC コードで利用可能な機能のみをサポートします。

ガイドラインと要件

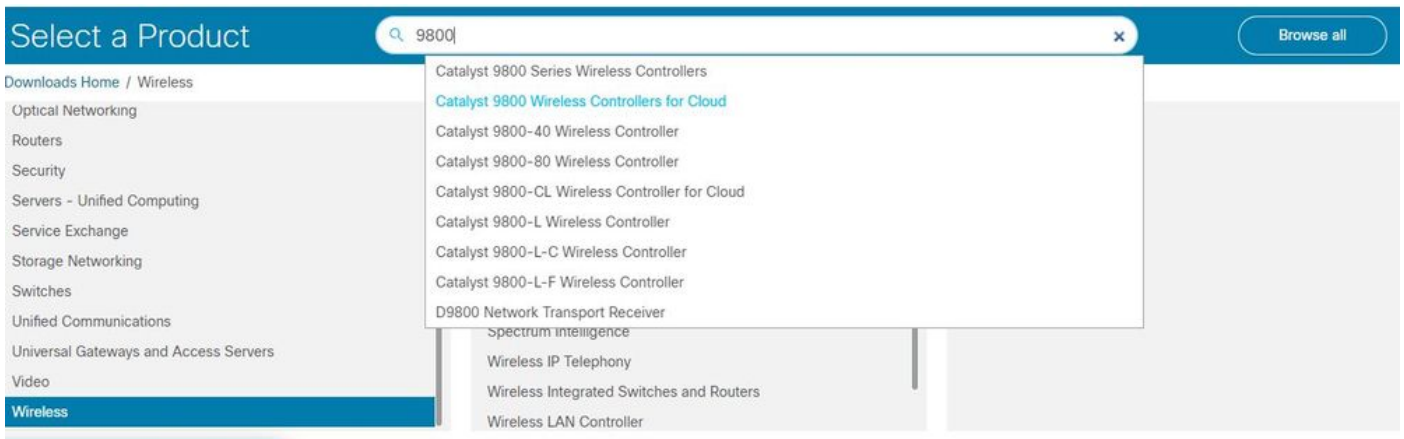
1. SMU パッチは、MD リリース後の長期的リリース (16.12、17.3、17.6、17.9 など) についてのみ生成されます。
2. SMU は、少なくとも Network Advantage ライセンスを実行している 9800 WLC にのみ適用できます。[各種ライセンスのワイヤレス機能マトリックスを参照してください。](#)
3. ほとんどの展開に適用可能な SMU は、顧客が自分でダウンロードできるように cisco.com で公開されます。
4. SMU またはパッチは、すべてのバグ修正に使用できるわけではありません。通常、バグ修正に関連するコード変更により、パッチ適用可能性が決まります。
5. SMU の適用性は、不具合ごとに評価されます。ご使用のC9800がライセンスに基づいて

SMUパッチの適用対象となり、特定の不具合にSMUが必要な場合は、Cisco Technical Assistance Center(TAC)に連絡してバグを評価してもらってください。

これらの機能の詳細については、[C9800 WLC のパッチガイド](#)を参照してください。

Cisco.com での各種 9800 の SMU、APSP、および APDP イメージの場所

ステップ 1：ダウンロードホームに移動し、[製品の選択 (Select a Product)] の検索バーで 9800 を検索して、使用している 9800 フォームファクタを選択します。



ステップ 2：[ソフトウェアタイプ (Software Type)] メニューから、必要に応じて、SMU、APSP、または APDP を選択します。

Select a Software Type

[IOS XE Hardware Programmable Devices](#)

[IOS XE In-Service Software Upgrade \(ISSU\) Matrix](#)

[IOS XE ROMMON Software](#)

[IOS XE Software](#)

[IOS XE Software AP Device Pack](#)

[IOS XE Software AP Service Pack](#)

[IOS XE Software Maintenance Upgrades \(SMU\)](#)

[Management Information Base \(MIB\)](#)

[NBAR2 Protocol Packs](#)

[Wireless Lan Controller Web Authentication Bundle](#)

Software Defined Access (SDA) に関する注意事項

SDA に最適なコードの組み合わせに関する推奨事項については、常に SDA 互換性マトリックスを参照してください。これには、シスコの SDA ソリューションテストチームによってテストされた、Cisco DNA Center、Identity Service Engine (ISE)、スイッチ、ルータ、およびワイヤレス LAN コントローラでのコードの特定の組み合わせが示されています。

Inter Release Controller Mobility (IRCM)

- IRCM は、2504/7510/vWLC コントローラではサポートされておらず、5508/8510/5520/8540/3504 プラットフォームでのみサポートされています。
- AireOS WLC とのリリース間コントローラモビリティ (IRCM) 互換性については、次の点に注意してください。
 - TAC では、すべての展開に AireOS 8.10.190.0 を使用することを推奨しています。
 - 環境内に古い WLC またはアクセスポイントがあり、8.5 より後のバージョンの AireOS にアップグレードできない展開の場合、TAC では、[8.5.182.108 \(非表示の投稿 \)](#) IRCM コードを推奨しています。

注：すべてのバージョンの 8.5 コードで IRCM がサポートされているわけではありません。cisco.com で入手可能な 8.5 IRCM のバージョンには、8.5.164.0、8.5.164.216、8.5.176.0、8.5.176.1、8.5.176.2、8.5.182.104 が含まれます。

AireOS 推奨コードについては、次を参照してください。

<https://www.cisco.com/c/en/us/support/docs/wireless/wireless-lan-controller-software/200046-tac-recommended-aires.html>

Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス LAN コントローラでサポートされている機能

[リリースノート](#)

[リリースごとの Cisco IOS XE ワイヤレス機能のリスト](#)

[AireOS と Cisco IOS XE の機能比較マトリックス](#)

[wave2 および 11ax アクセスポイントの FlexConnect 機能マトリックス](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。